

## 第4回乙訓圏域障がい者自立支援協議会相談支援部会会議録

日 時 平成28年12月16日（金）午前10時～12時

場 所 乙訓保健所 講堂

出席者 相談支援部会委員 15人

乙訓障がい者基幹相談支援センター・キャンバス・アンサンブル・乙訓ひまわり園・向日市社協障がい者地域生活支援センター・乙訓ポニーの学校・大山崎町社会福祉協議会・乙訓若竹苑・乙訓やよい会・乙訓の障害者福祉を進める連絡会(2)・乙訓保健所福祉室・向日市障がい者支援課・長岡京市障がい福祉課・大山崎町福祉課事務局 2人

欠 席 NPO法人こらぼねっと京都・乙訓福祉会・京都府立向日が丘支援学校

配付資料・次第

- ・平成28年度研修会まとめ
- ・平成28年度相談支援部会経過と今後のスケジュール

会議の公開・非公開 公開 ※事例学習以降非公開 傍聴 3人

資料確認

(部会長)

・おはようございます。寒い中お集まりいただきありがとうございます。第4回相談支援部会を開催させていただきます。先に事務局の方から何か連絡はありますか？ないですか？お休みの連絡をいただいているのが伊藤委員と山中委員は少し遅れると連絡をいただいております。あとの方は追ってお見えかなと思いますが始めています。今日の議題はひとつは研修会の報告、それからもうひとつ今進めている福祉計画のこと、それから事例学習も今日はさせていただければと思っています。

実はその他のところでちょっと置き去りにしていると言ったら変な言い方ですが自立支援協議会の運営委員会の報告の中で地域生活支援部会の方から緊急時の対応等について、いわゆるその方のサービス等利用計画等を担当している計画相談の段階で、お話を伺っている段階でそれを組み込んだ計画書というのが書けないのかということで相談支援部会の方で検討してほしいというような依頼が実は年度当初にあって、一度ご報告はさせていただいたと思うのですが、それを相談支援部会の方でどうするかのお話が途中になっています。ちょっとそのことについて今日は個人的なご提案も含めて皆さんで確認していただけたらと思っていますので、4. その他のところから始めて良いですか？その他というのは今のひとつだけなのですが。端的に言いますと個人的には相談支援部会で取り扱うというよりはできれば相談支援事業所連絡会、そこに相談を担当している人達が、事業所さんが全部集まってきてるのでそちらの方に声をかけさせていただいて、そういう枠が作れるのか、そういう形で進められるのかといったところをご相談いただいたり、検討していただいたりと下請けのようで失礼なお話かもしれないのですが。個人的な部会長としてなのかもっとそれは置きまして、そういうところでちょっと検討していただく方がより相応しいのではないかなと思っています。と申しましても私の事業所もそこには入っていますので結局は自分達のところに返ってくるのですが、その辺は皆さん何か思われることはありますか？ここで例えば「そうしましょう」ということになったとしても結局はまた相談支援事業所の方に実はこういう課題がある、こういう形で計画のアセスメントあるいはインテークの時点でちょっと投げ掛けてもらって、それを計画書の中に反映させていただくというようなことができないのかとまたお願いにはあがらないといけないわけにはなってくると思うのですが、その辺は如何ですか？現実的に相談を担当してくれている部会員さんもおられるので。唐突な言い方で悪いのですが。

(吉川委員)

・以前からその緊急時の対応についてはあったと思うのですが、いち相談員としてはそれぞれ個別の利用者さんによって留意事項のところにこうなった場合はここに連絡とかはご家族さん、何よりもご本人さんの了解をもとに記載している方もあるって、支援者の方とも担当者会議等で十分協議させていただき、こういう状況になった時にどうしたら良いか

というのでその都度確認はさせていただいているのですがご利用者さんの中によっては記載をしてほしくないという場合もあるので、それは個別にそうなった場合は家族さんなり主介護者の方にご確認をさせていただくということで、それらしき内容を書かせてもらったりとかがあるので、私もセンターとしてもこういう議題があるということは話をしていますし、それぞれ個別によって対応の方だったり記載の方も文章で残ってしまうというところで色々な方に見られるというところで家族さんが不安に思っておられたりするところもあるので、その辺りは個別皆それが現状です。

(部会長)

- ・他にうちではそういう場合こんな書き方をしている等ありますか？井上委員のところはわかりますか？

(井上委員)

・利用者さんによってそれぞれ違うというのとやはり当然その人に対する個別性があるので緊急性ということをとっても連絡先をマニュアル化している方も当然いたりとかするので、ただ、今回この話になっているのは年数だったりヒアリング等の中でそういうことを相談員が意識して聞いていますかということの周知の部分があるのかなと思うので相談支援事業所連絡会の中でもう少し緊急時の必要性だったりということを話すという形でまず進めていった方が良いのかなという風には感じています。

(部会長)

・緊急時の対応を色々な人に見られるのが嫌というその気持ちは緊急時が緊急時でなくなるのですが、それはどうなのでしょうか？ちらっと聞いた感じではですが、そのために皆がこういう場合にはここに連絡しましょう等を共有しておきましょうというので、そこだと思います。今、地域生活支援部会で出ているのは。親御さんが急に状況が、養育するところが無理になった状態というのを緊急時と位置付けてということなのですが、あまり他のたくさん的人に知ってほしくないということはどういうことなのだろう。

(吉川委員)

- ・例えば、家族さんの携帯番号等も知らせてほしくないという家族さんもおられます。

(部会長)

- ・それは緊急事態においても？

(吉川委員)

・おいてもと言うか、あまりたくさんの方に知られたくない。それは本当に一部の方なのですが。何かあって、私が24時間・365日対応できるわけではないのでというところもお伝えするのですが、そういう話もあるということを担当者会議等では何かの時はうちだったり、日中帯でその方は支援されている方ですが、夜間に家族さんが体調が悪くなることもあるのでということもお話しはしていますが、そこまでいきつていらない方については皆さん考え方がそれぞれで環境もそうですし全てに盛り込むという部分と家族さんの了解の元で関係者で情報共有してきちんと記録を残す。こういう時はこうだよというのを周知できるようにという風には思っています。

(部会長)

・地域生活支援部会で出ていたのはいわゆる親御さん、あるいは一緒にその人の支援をしているご家族の方が何か病気等でその支援ができなくなった時にというのを緊急事態という風に今回の場合は今のところ位置付けています。その上でそういう時のことをそういうことがあるだろうということを想定して計画でモニタリングやアセスメントの時に、そういう時にはどなたに連絡したら良いですか等ということを相談の者が当初の支援計画の中に組み込んで聞いてもらっておいて、例えば知られたくない番号等は別途連絡先が緊急の場合あります等、そういったことにして、とにかくそういうのを皆が意識して一齊にというか最初の段階のところで取り組めないかなということですね。違っていますか？

(奥田委員)

・そうです。平日の昼間であればどこか支援ができるようなところに連絡がつくということもあるでしょうし、相談に連絡がつくというようなところもあるのですが、やはり夜間であったり日曜や祝日、土曜日もそうかもしれません。

そういうところで相談にも連絡がつかないし支援の事業所も閉まっているというところで介護者の方が身体の具合が悪くなった時に朝まで我慢したとか色々な状況があるので、そういう一定の緊急事態と言われているような状況を場面想定した上で、その時に本人がどういう過ごしができるのかということが個別に違うと思うので、そこでその時はこういうことが考えられますよね、こうしましょうか、というところまでいければ良いのかなというところです。それを考えるためのそのツールとしてこういうことを聞いておきましょうみたいなシートがあつたら良いですよねということです。

(部会長)

・何かそういう風なところでサービス提供事業者とか相談等とご家族の方でそういう話というか取り決めというか方向というか、お持ちですか？こんなこと聞いてはだめですかね？

(河合委員)

・それぞれご家族によって進んでいるところと全く進んでいないところと色々ある状況です。その緊急時の場面というのは色々それに思い浮かべている場面がそれぞれ色々なので、例えば今の吉川委員からの話でご本人の携帯の連絡先を知られたくないというのはどちらかというと緊急が起こった時に当事者の方が発信できなかつたら伝わらないことなので。

(吉川委員)

・ご本人ではなくて家族です。

(河合委員)

・ご家族の携帯番号はなくても、それ以外の事業所の連絡先がオーブンにできるかどうかという話も関係してくると思うのですが、例えばうちのケースだと別に特に緊急時の連絡をどう回すかみたいなところまでの話はしていないですがサポートブックを作っている中にそれぞれの連絡先が全部あげてあって、ひとつ訪問看護ステーションが平日の日中の連絡先、普通の固定電話の連絡先と、うちの契約では夜間も緊急連絡ができることになっているのでその携帯の電話連絡の連絡先は家族には教えてもらっているのですが、それをサポートブックの緊急連絡先の一覧の中に書いて、一旦、個別支援会議の時に配ったのですが、そうしたら後で訪問看護ステーションの方から「これはオーブンにしないでください。」と言われたというそういうことはありました。だから、それぞれの事業所によって「この番号は本人だけにとか家族だけにお知らせします。でも、他の事業所には知らせないでください。」というのもあるかと思います。

(吉川委員)

・主治医さんもそうです。例えば、係りつけ医が往診してくださっていて先生の携帯番号を全てのサービス提供事業所の人にはしないでくださいと言われていたり、そこは個別に河合委員がおっしゃっているように人によっては一覧でご自宅にも置いて皆さんに担当者会議でご本人家族の了解を元におこぼれさせてもらって連絡が取れるようになっている場合とやっぱりそうではない場合とそれの方によってというところがあります。

(河合委員)

・そうやって色々あるのですが、今回言われている話はともかく緊急時の対応をどうするかというのをサービス等利用計画の中に入れてほしいということなので、そのことについて直接してくださるのは相談支援事業所だから最初に部会長さんがおっしゃったように相談支援事業所連絡会で話していただいたら、ここで話すより直接的で良いように思います。私がこの話を部会長から投げ掛けられた時に最初に作業部会でおっしゃられたと思うのですが、その時、各事業所でもう既にそういうことをサービス等利用計画に盛り込んでいるというところもあるだろうから「事例を教えていたらどうなのですか？」という風に言ったかと思います。作業部会だったので議事録もとっていないから全ての皆さんにそれは伝わっていないのですが私はその時そう思ったのですが、それを相談支援事業所連絡会で直接やってくださつたらそれで良いのではないかと思います。

(高畠委員)

※個別事例のため削除いたします。

(部会長)

・相談支援部会としては運営委員会で地域生活支援部会から投げ掛けられましたが、一応、相談支援部会としてはもう

一度運営委員会の方に戻して相談支援事業所連絡会の方に投げ掛けさせてもらつてというような報告をさせていただく  
というようなことで良いですか？その辺はよろしいですか？ちょっと手をあげていただくとわかりやすいのですが。よ  
ろしいですか？運営委員会でお話しされたのでもう一度、運営委員会に戻してその方向でいきたいと確認をとらせて  
いただきますのでよろしくお願ひします。

傍聴の方が見えましたので、少しだけごめんなさい。今日ホームページの方にはアップできていなかったのですが事例  
学習をさせていただく予定にしております。その時になれば非公開ということになりますので、その辺ご了解の上で傍  
聴していただけたらと思っていますので、よろしくお願ひします。

## 1. 研修会の報告について

(部会長)

・先日は皆さん本当にありがとうございました。上田副部会長の方からご報告等々をお願いします。

(上田副部会長)

・ホッチキス止めの資料がまとめになります。参加者が1日で48名です。1日参加の方が39名、午前のみが8名、  
午後だけ来られた方が1名になっています。内訳は括弧の中の通りです。

アンケートについて、その内容をざっと全て記載したようになっているのですが全部で4ページです。特に3番目のと  
ころで午前の講演とシンポジウムについて、午後のグループワークについてそれぞれ感じたこと、ご意見、良かったこと、  
参考になったこと等を書いていただいたのですが、参加者の方とても熱心に記入していただいて凄く研修自体、満  
足の高かったものだなという風に感じました。

アンケートを提出していただいた方が31名だったのですが、来年度続けてほしいと思われた方は5番のところで30  
名、その必要はないという方は1名だったので、その結果も踏まえてまた来年につなげていけたらなあと思っています。  
続けてほしい時期としてはそれぞれバラバラのご意見でもう少し聞き方を考えた方が良かったかなと思ったのですが、  
年明けて1月・2月ぐらいの方が良かったのかなという感じです。今までしてきた研修会が第1回・第2回とも2月で  
3回目の今年度が12月になったのですが人数的にも今回の12月は今まで70名程いらっしゃったのが48名だったので、  
ちょっと減ってしまったので12月というのが皆さん参加しにくかったのか、他の事情があったのかというところの  
ですが続けていくなら年明けの方が良いのかなとも思いました。

ただ、向日市福祉会館の会場はちょうど良い人数で皆さん話しやすい雰囲気の中で進められたように思います。

凄く皆さんのが感想が多いのでちょっとまた皆さんで目を通していただければなと思います。

最後、7番のところで「その他お気づきの点」ということで意見してくださっていることですが「直接支援のサービス  
事業所の方の参加が少なかったのが残念でした。」という意見が凄く多くありました。いつも直接関わったり話し合って  
いるところの直接支援の事業所さんが少なかったのでその辺の声かけも考えていかないとという意見がたくさんあ  
っていたので、そこは来年の課題にしたいと思います。

(部会長)

・ありがとうございます。その後に講演をいただいた講師のお二人、須河さんと濱村さんの資料を付けています。その  
次にはグループワークで取り組んだ伊藤委員が作ってくださった資料も付けています。本当に相談支援部会全体で取り  
組めたということで一言ずつでもご感想なり気が付かれたところをおっしゃって貰いたら嬉しいなと思います。

(飯山委員)

・ちょっと私は行けなかつたので別の職員に行ってもらったのですが、初めての参加で参加人数が多かつたことに驚いて  
いました。午後のところで色々な話ができる良かつたと口答で聞いた話はそんなところでした。

(山中委員)

・実際にサービスに関わっている方とお会いする機会に色々お話を伺うことができて講演も勉強になって良かったなど  
課長とも話をしていました。グループワークの中で割と児童の事業所の方が直接支援の方とか計画というところについ  
ての意見がなかなかちょっと難しいのかなという感じがあつたりもしたので、その辺はまた相談支援部会の研修だから

そっちの方向というのか、そういうご感想が多かったように直接支援に携わっている方が参加しやすいような感じでいくのかというのはぎりぎりでの検討かなという風に思いました。

(小野委員)

・研修会は2回参加させていただいて午前中の講演はお話を聞かせていただいて色々と参考になったと思います。午後からのグループワークについても色んな角度の事業所さんが集まって話をするという機会もなかなか私はないのでその中でやはり色々ある意見の中から詰められたことは良かったかなと感じています。

(部会長)

・お仕事に活かせそうなところは何かありましたか？

(小野委員)

・僕の個人的なところの経験というところではとても良い機会だったのでまた来年参加したいなと思います。

(原田委員)

・午前中の講義については実際の現場の方の工夫とか視点とか実際の具体例を交えて説明があって非常に良かったと思います。皆さんも熱心に聞いていただいて非常に良かったと思います。グループワークですが私は参加しなかったのですが色んなところを回っていて、皆さん熱心に具体例を交えて議論を和気藹々としながらされていたので、色々な絵を描いたり等皆さんその人の身になって親身になって考えているのを見られて良かったなと思っています。

(長澤委員)

・受付をさせていただいたのですが、去年とメンバー的に顔ぶれが同じ方が多かったので、もうちょっと広がりがあったかも良かったかなと思いました。

(河合委員)

・お手伝いが何もできずすみませんでした。午前中の講演は講師の方が去年と同じ二人でどういう方かというのがわかつっていたので、直接話にしっかりと入って聞けたのでそれは良かったと思いました。参加人数的には会場が凄くあっていて講師の方も長岡京市の市民ホールだと壇上が高いので、それとは違って同じフロアで聞けたという感じも良かったです。現場の支援職員さんの参加がちょっと少なかったのが残念でした。午前の講義も聞いていただけたら凄く良かったのになと思いました。あと重症心身障害のお話を聞いた中から色々と考えを自分自身でしていました。

(吉川委員)

・私は相談支援部会と乙障協という二つの立場からだったのですが乙障協の方のサービス提供事業所さんが少なかったかなと感想の方にも書かせてもらったのですがグループホームの職員さんとの関わりを持ちたいということがあって研修会ということだったと思うのですがその辺りも部会でもそうですし合同でさせてもらっている中で乙障協さんの会議の方でも代表の方が来られているのですがその辺りでも周知の啓発の方法等ももうちょっと相談していかないといけないのかなというのを感じました。場所が狭くて申し訳なかったのですが私も河合委員がおっしゃるように講師さんと近いところでグループワークをしていても意見はおっしゃらないですが見守ってくださって暖かい雰囲気でできたのが良かったかなと思っています。次年度からもしこういう研修会があるのであれば向日市の方でも訪問ヘルパーさんの連絡会というのが毎月あるのですが、その会議の時にチラシが間に合わなかったというのがあって、本当にたくさんの事業所さんが関わってくれているのですが、口答ではちょっと関わっている事業所さんにはお伝えしていました。土曜日とか時間帯というか土曜日のヘルパーさんの稼働率が少ないというところ邊で参加しにくいというのは何事業所さんからは声を聞かせてもらったので今後に何か活かせたら良いかなと思っています。あと、昨日ですが就労事業所AのKTワーカーズの笹川さんから別件でお電話があって名簿の方でアドレスが間違っているというご指摘がありました。s a k a k a w a という風になっているのを s a s a k a w a に訂正しておいてくださいということです。訂正の方よろしくお願いします。

(井上委員)

・僕も相談支援として関わる中で通所のスタッフにも話を聞かせてもらっている中で来てもらえたなと思いました。ひまわり園として全員が参加するというのは難しいので少しやはり人選しながら通所のスタッフが出られるようなシフ

トを研修に関しては考えていくべきなとは感じています。ひまわり園がちょっと少ないというお話は直接聞いているので実際現場の中で関わっているスタッフという中でのチーム支援という位置付けの中でまた改めて考えないといけないかなと思っています。非常に顔の近い皆さん方が集まって普段の仕事だけの話ではなくて色々な考え方があるのだなと勉強をさせてもらいました。

(奥田委員)

・言われていた通りサービスの方が少なかったということと普段お見かけする方がほとんどだったというところで、僕が居ていたグループの中には放課後等デイをやっておられてまだ年数が浅いという方もいていました。ただ、研修の準備会の中でも意見があったと思うのですが確かに研修をやって僕も感じたことはありましたし、感想の中にもそれぞれ色々な意見を書いていただいているのですが個人としてはこういうことをやってみたいなどかこういう考え方をしていきたいなと思っていても、なかなか事業所に帰った時にそれが形にならなかつたりということが色々な理由であると思うのですがそこをどうやっていったら良いのかなと思ったりしました。ひとつは最近研修等でもあると思うのですがその事前学習であったりとか、研修に一旦行って、講義であったりグループワークをして、その上で自分なりに自分の業務内でできることを課題設定して、持ち帰って、それについてレポートを書いて、上司もコメントを書いてみたいなこともあつたりするのですが、なかなかここまでこの自立支援協議会の研修では難しいとは思うので、せめて事業所の中で自分ひとりだということではなくて二人・三人来てもらえて、あの研修でこんなことがあったから中の支援の中で頑張っていきましょうみたいなことができたら良いのかなと思うので、毎年どうしても年度ごとの計画になるので難しいところもあるのかもしれないですが、あと公共的なところは先押さえができないというところもあるのですが、できれば早いうちからこの日程でというような相談ができる、各事業所の研修の年間計画の中に入れてもらえるようなことを考えていけたら良いのかなという風に思いました。

(中坊委員)

・初めて参加させていただいた私は自己紹介が必要な立場だったのですが、司会とかもさせていただいたのですが皆さん活発な意見で、フロアもちょうど良い広さだったし、普通、大きなところで知らない人ばかりで事例学習等をするとあまり意見が出ないのですが若い人の意見も聞いて良かったと思います。

(岡西委員)

・私も帰って、参加していただいた方に感想等を聞いていたのですがうちも若手の新しい職員の方が今回初めて研修に出たという人が数人いまして、感想としては楽しくグループワークができたという印象を持っていただけたようです。あと、サービス等利用計画を今回グループワークの中でちょっと模擬的な形で本当に簡単な形なのですが皆で一度立ててみるとどういった内容だったのですが、それも初めての体験でこんな風にして相談支援をやっていたりだと相談支援専門員ってこんな仕事をしているんだというのを知る良い機会になった、興味を持ったということも一部感想としてありました。そういう意味合いもこの研修には少しあったのだということも改めて感じました。

(上田副部会長)

・アンケートにもたくさん出ていたのですが午前の講演は皆さん共感することが凄く多かった、これから活かしたいという意見があって、午後のグループワークは凄く楽しかったという意見が凄く多くて、それは私も感じたことなのですが、いつもサービス担当者会議で集まった時に何か事が起つて、さあどうしましょうという時に集まって話すので、皆怖い顔というか眉間にしわが寄った形で集まることが多いのですが、今回のように、今回は良い意味で凄く楽しいことを思い描いて、そのご本人が楽しいことは何か、嬉しいことは何かということを出せたのが、皆の雰囲気が和気藹々としたグループワークになったのかなと思って、それは普段から何かあった時に集まるのではなくて平常時から集まつてその人の嬉しいことや楽しいことは何だろうという話をすると機会を持って、皆で楽しいことを考えるという担当者会議も必要なんだなというふうに私自身も感じました。

(部会長)

・私は今回、部会長というものをさせてもらっているからか午前の講演の司会とシンポジウムの進行をさせてもらって、皆さんの聞きたいことを上手に講師の方に聞えたのかなという心配はしています。あとは進行として心配していて、

ご質問を事前にお願いしていたのですが、あの流れの中でお願いしていた人と違う人になってしまった、お願いしていた人に大変申し訳なかったなど後で謝っていたのですが、そういう失敗とかがありました。あと、午前で帰られる方がおられるとわかっていたのにアンケートの回収箱を帰りの受付のところに用意するのを忘れていて、ひょっとしたら書いてくださっていたかもしれないのにそのままお持ち帰りいただいた方もおられたのではないかなど、そんなことを今思っています。研修の中身そのものについては本当にいつも考えさせられる、でも考えさせられるだけで、受けた研修を実際現場に戻った時にどう活かすのかというところが凄く大事になってくるんじゃないかなと思いますので、僕のところの事業所の方からもあと二人程参加させていただいたので、その人達が今終わった後、学んできたことを職員会議の中等でそれを活かせるのかどうなのかというのは一緒に行った者が一緒に確認したりしながら、そこに納得したらですが、そんなことを思いながら皆さんのお話を聞かせてもらっていました。

実は次回以降に来年度どうするか、この研修を続けるのか、続けないのか。感想の中にもありました、乙障協さんの方でやつた方がより良いのかなあとか、続けるのであれば時期の問題等々色々考えないといけないことがあります。時期の問題については今年度はこれまでお世話になっていた長岡京市の中央公民館が空調が入らないという改修のところにあたるというのが年明けからあったのでちょっと早めてということだったのですが、早めたけれどそこの場所が当たらずということで取れずに福祉会館にお世話になったということもあるので、全体の流れ・運営のことも考えないといけないのですが続けるか・続けないかというところでアンケートも続けてほしい・必要ないという二択にすれば必要なとは書きにくいのかな等アンケートの項目のことも色々あるなと思いながらは反省しているのですが、ちょっとまた次回以降にこの研修について来年度の相談支援部会の活動方針等も年が明けたらまとめとそれをやっていかないといけないと思うので、またその時に色々と議論ができたらなあという風に思っています。

(長澤委員)

・参加者名簿の中で采墨さんの漢字が間違っていたそうなので訂正をお願いします。

(部会長)

・研修会のことは以上でよろしいですか？

## 2. 福祉サービス利用の現状と福祉計画について

(岡西副部会長)

・報告等をさせていただきたいと思います。前回の相談支援部会の中で今後どのように進めていくのか、具体的なスケジュール立てとまとめをどういう形でしていくかというところをもう少し具体化していかないといけないかなということでお話ししていました。来年が福祉計画の策定の年ということで今年度中を目処に仕上げていきましょうという確認をし合ったかと思います。その後ですがまとめ方については河合委員の方からなかなかどうして良いかわからず悩んでいたところ力を貸していただいた形になるのですが、平成28年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会相談支援部会の課題・目的・今後のスケジュール等が書いたものを付けていますが、その裏面の方に居宅介護、とりあえず今日付けさせていただいたのは1枚ですが、ワークシートというまとめのひとつ手前と言いますか、まとめにあたる土台となるワークシートの方のご提案をいただきました。その内容を11月14日の作業部会の時に福祉計画の担当の委員さんで確認やちょっと話し合いという形で持たせてもらっています。まだ具体的には内容の議論についてはこの間ではしていませんまとめ方とスケジュールの確認ということに今のところなっています、具体的なワーク形式で進めていこうということで作業部会の中では話が出ているのですが、次回12月21日の水曜日に福祉計画についての作業部会という形で行う予定にしています。既にお声かけはさせていただいています。今まででは福祉計画のチームということで研修チームと分かれてやっていたのですが、やはりもっとたくさん意見がほしいなというのとやはりどうしてもこの相談支援部会の中だけでは時間的な制約もあって意見が出しにくい部分もあるので、ちょっとその時間を使わせてもらつてもっと議論を進めていきたいなと思っています。その報告が一点で、またご意見等お聞かせいただけたらと思います。

あと、もうひとつ確認したことが今いただいている市町からのデータの方ですがもっと精査していくのに情報提供を依頼していくかという点についても作業部会の方で話をしまして、結論から言いますと依頼をせずに今ある情報の中で検

証を進めていこう。ただ、わからないことはもちろんわからないこととしてあるので、それに関してはわからない点ということでワークシートの欄にも作ってくださっているのですが、あげていこうという話になっています。

今後、ワークシートを基にデータから推測できること、どういう風な読み取りができるかという議論をしていくこと、議論して出てきた問題とか課題等をどういう風に改善していく方策があるかとか、もうひとつ出していたのは計画作成に際して乙訓のそれぞれの市町によって作られている計画なのでどうしても比較する際に見にくく面等があるので、もうちょっとそういったところも、もう少し改善してもらえばというような案が出来ていけたらなあという話が出ています。

(部会長)

- ・何か付け加えることはありますか？

(河合委員)

- ・私がこの前出させてもらった時の「数値の客観的な読み取り」と「障がい福祉計画との関連」のところを空白にしているのは意図的に空白にされているのでしょうか？

(岡西副部会長)

- ・そうです。すいません。説明が不足していました。数値の客観的な読み取りをワークシートの方にも入れてくださっているのですが、最終的にはここに数値をまとめたものも入れ込んで、居宅介護という欄で、私達の中でデータがあつて、それをどう読みとて、どういう風な議論をしたのかみたいなものをまとめていけたらというのが出ていたのですが、その数値をどこまで公表していくかというところを各市町の方に公表することを前提ではデータをいただいているかったので、確認した上で出すというところの確認作業がまだとれていなかったので、今回は抜いて出させていただいたという形なのですが。

(部会長)

- ・僕の手元にあるのはこの上か下かに載せましょうというところで終わっていたかと思います。

(岡西副部会長)

- ・下だったと思います。

(河合委員)

- ・下に、今太い枠にしてくださっている、そこへデータを直接入れましょうという話をされていたと思います。

(部会長)

- ・今度の作業部会の時にはそれも入れたもので、皆でここで言いながらシートを作っていくという作業にしましょうという話を今、作業部会の方ではやっています。ですから、そこにはできるだけたくさんの方に来てもらって、色々な見方、考え方、読み方、読み取り方みたいなものをそれぞれまとめていけたらなあという風にはしているので21日の10時にここをお借りできていますので、是非よろしくお願ひしたいと思います。その辺りのことと何かありますか？

(長澤委員)

- ・スケジュール的に、前の作業部会でも居宅のところしかできていないくて、一応サービスの種類を絞って9件くらいにしたのですが今後どうされるのですか？もう優先的にこれだけをするとか全部をすると時間的にたぶん足りないと思うので、29年度の全体会までにまとめるということですが時間的に間に合うのかなあと、どの辺がどうなるのかなあとわからないのですが。

(岡西副部会長)

- ・時間的にどこまでその話に時間を費やしていくかという部分にもなってくるかと思います。ちょっとまとめを見ていくと、もう既に結構議論がなされているサービスのところとほとんど空白に近い、まだ議論できていないなあというサービスのところがあるので、ちょっとそこの進行の仕方によってくるとは思うのですが、できるだけ作業部会の時にいつにとまではいかないかもしませんが意見を出すことを中心に進めていく、第4回作業部会で予定しているのですがちょっと本当にそこでどこまで進行していくかというのが鍵になっていくのかなと思います。

(河合委員)

・土台を作つておくことがきちんとできていないと、前回の作業部会は本来だったらそれ以前にこういう形でどうですかみたいなものを出すことになっていたのが、その前のところが日程がうまく取れなかつたからワンテンポ遅れています。だから今度の作業部会までにちゃんと土台がきちんとできつていて、その議論から始められるのか、まだ土台にかかっているのかでまたワンテンポずつ遅れていくかと思います。

(部会長)

・今のところ、頑張つて土台は作る予定でいつてるので、またその辺で、作業部会の中で、全く児童福祉法の方は今回飛んでしまつてゐるし、論議していく中で9つのところに絞つたところと、あとの提出していただいた資料をどう扱うかというのも、また部会の中で皆で相談しながらやつていけたらなあというのを思ひます。ぜひ、皆さんもご意見を言つていただいて、ただ次回の部会までには土台はちゃんとやっておくと、その上で数値もちゃんと入れたものを作つておくということで、是非また皆で、色々な読み方、予想なんかも含めて意見を出してもらえたら、そこにどんどん入っていくということになりますので、またお時間を何とか作つていただいて積極的に来てくださつたら嬉しいなという風に部会長としては思つてゐます。他は何かありますか?

(高畠委員)

・行けなかつたので申し訳なかつたのですが絞られた9つの項目だけ教えていただけますか?申し訳ないです。

(岡西副部会長)

・居宅介護、居宅介護は家事援助・身体介護・通院介助全部入つた居宅介護でひとつという形にさせてもらつています。重度訪問介護、生活介護、就労継続支援B型、短期入所、グループホーム、施設入所、移動支援、日中一時支援です。

(河合委員)

・前回の作業部会で追加でくださつた資料で、その9つ選びだしたものと違つたので、利用率を下に付け加えてくださつた資料をもう一度出し直しをお願いします。

(岡西副部会長)

・間違つてましたね。ちょっとずれてと言ひますか、違うサービスの利用率を出してしまつてました。そこは次に正確なもので出させていただきたいと思ひます。

(部会長)

・きちつとやつていきますので、よろしくお願ひします。他によろしいですか?

次回、作業部会の方でやらないといけないのがとにかく打ち込んで、土台がきて、それに皆の思いを言つてもらひながらまとめをズつとしていくという作業になりますので是非よろしくおねがいします。

ちょっとここで休憩をとらせていただいて事例学習の方に入らせていきたいと思ひます。傍聴の皆様には本当に申し訳ございません。ホームページでもきちんとご案内ができなくて申し訳ありませんでした。寒い中来ていただき、ありがとうございました。

次回定例会 1月23日(月)午前10時から 乙訓保健所 講堂